

## 富士通におけるサステナビリティの考え方

### 「環境」「経済」「社会」の3つの柱で、 持続可能な社会に向けたサステナブル経営に取り組みます。

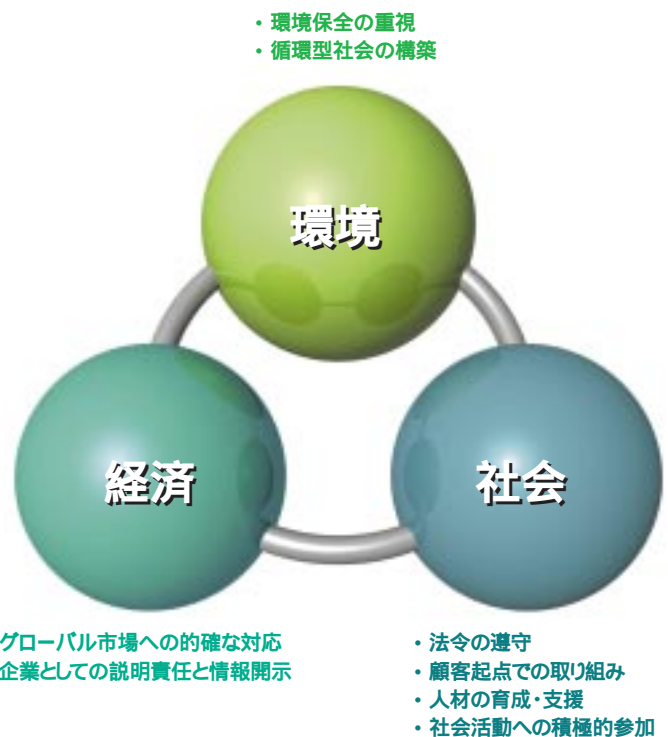
社会の持続可能な発展に貢献するために、富士通グループでは「環境」「経済」「社会」の3つの側面で企業としての責任を果たすサステナブル経営に取り組み始めています。環境経営からサステナブル経営へ 新しい視点で、未来と調和する事業活動をめざします。

### 富士通グループは、 なぜサステナブル経営に 取り組むのか？

いま私たちには、環境問題への的確な対応が強く求められています。特に地球温暖化防止対策では、1997年に日本で採択された京都議定書により、先進国に対して二酸化炭素など温室効果ガスの厳しい削減が義務づけられました。2010年をめどに、1990年の排出量を基準として、日本は6%の削減を達成する必要があります。また、日本をはじめ欧州においても、循環型社会の構築が急務となっています。このような情勢の中で、富士通グループでは2001年に第3期富士通環境行動計画を策定し、省エネルギー対策やグリーン製品開発、製品リサイクルなど積極的な環境活動を推進してきました。また、ネットワークを利用した環境NGOとの海外植林、環境NGO活動支援や環境eラーニングソフトの販売なども進めてきました。近年、環境とともにクローズアップされているのが、企業の経済的責任・社会的責任と調和した事業活動です。より良い製品を提供するだけでなく、環境/経済/社会と関わるそれぞれの活動において誠実な対応を行う、企業倫理が強く求められていると考えています。一方、市場経済のグローバル化の進展に伴い、多くの製品が国境を越えて、世界中のさまざまな地域・国で販売・使用されています。当社では、IT企業特有のネットワーク社会へのセキュリティや情報へのアクセシビリティという面で社会的責任を担い、また財務の透明性と企業の成長性を高めることが重要であると認識し、環境負荷の低減と併せて持続可能な社会の形成に貢献していく考えです。「環境経営から、サステナブル経営へ」そんな思いで、IT先進企業として取り組んでいきます。

### 富士通がめざす サステナビリティとは？

IT企業として、「環境」「経済」「社会」を3つの柱とし、それぞれに責任ある活動として取り組んでいくことで社会の持続可能な発展に貢献します。



### ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ株式指標 環境分野4年連続トップ。

「自然と共生するものづくり」を原点とした、環境へのさまざまな活動が高く評価され、富士通グループは、米国ダウ・ジョーンズ社による世界34カ国2500社を対象に実施したサステナビリティ株式指標の環境分野で、4年連続トップにランキングされました。また、英国FTSEインターナショナル社によるFTSE指標において、「環境

サステナビリティ」、「世界的な人権の支持・維持」、「ステイクホルダーとの積極的な関係の創出」の3点が評価され、「FTSE4Good Global Index」に組み入れられました。製品からソリューション、マネジメントなど、あらゆる領域にわたる私たちの取り組みは、世界的にも高い評価を受けています。



\* ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ株式指標：企業が将来にわたる発展可能性を測る指標として、ダウ・ジョーンズ社が世界的企業を評価。1999年より毎年発表されています。



## 環境負荷の低減

### 環境に対する経営方針

環境ビジョンと戦略(グリーンライフ21)  
 富士通グループ環境方針  
 推進組織  
 第3期富士通環境行動計画  
 地球環境負荷の把握

### 環境マネジメントシステム

ISO14001 認証取得  
 マネジメントシステムの改善  
 従業員環境啓発

### 環境会計

環境会計ガイドラインの適用  
 環境会計の業績と推移(費用と効果の明示)

### 環境コミュニケーション

環境経営報告書の発行  
 環境広告や環境テレビCMによる環境情報の提供  
 環境展示会などによるステークホルダーとのコミュニケーション  
 環境NGO/NPO・教育機関との連携  
 グローバルな社会貢献活動

### パフォーマンス

グリーンプロセス  
 事業所および周辺の環境保全(大気放出、排水の削減)  
 省エネルギー対策  
 地球温暖化ガス削減への取り組み  
 廃棄物ゼロエミッション  
 化学物質の排出削減・管理

### 環境リスク管理

土壌、地下水への取り組み  
 PCB、ダイオキシン、環境ホルモン、オゾン層破壊物質への対応  
 環境リスク感性教育  
 過去の違反・罰金・訴訟への対応

### 製品・サービスの環境配慮

グリーン調達  
 有害物質の不使用  
 技術開発  
 グリーン製品開発  
 環境ラベル  
 製品リサイクル対策  
 物流による負荷低減  
 環境指標の開示  
 ソフトウェア・サービスによる環境負荷低減  
 環境ソリューション商品の提供



## 企業の成長性と 経済への貢献

### 経済的責任

事業ビジョンの提示  
 経営執行責任の明確化

### 説明責任と情報開示

経営理念(The FUJITSU Way)  
 経営体制  
 財務データの開示



## 企業の社会的責任 の遂行

### 法令遵守

法令遵守のための組織  
 法令遵守のための取り組み

### リスク管理

リスク管理体制・対策  
 自然災害対策

### カスタマー・フォーカス

アクセシビリティ  
 顧客・消費者への情報提供  
 お問い合わせ窓口の設置

### 従業員満足

人権の尊重  
 成果主義 平等な処遇  
 人材育成 キャリア形成支援  
 FUJITSUユニバーシティ  
 環境教育

安全衛生  
 健康支援

### コミュニケーション

地域社会とのコミュニケーション  
 国際交流

### 社会貢献

社会福祉活動支援(ボランティア活動)  
 NGO/NPOとの連携  
 学術・教育の振興  
 文化・芸術活動